京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

發行所 京城西小門通 京城新報社
仁川支局
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

雜報

●朝鮮米視察談片

此程大連を出發し鎭南浦、仁川、京城、木浦、群山等各港及び學山江、錦江、鄭嘉、砂里院等の各集散地を視察して歸連せる某當業者の談なりと云ふを聞くに各港現在玄米及び出廻り豫想額は

	現在米	八九月中出廻見込	計
仁川	五千石	八千石	一萬三千石
京城	五千石	七千石	一萬二千石
鎭南浦	千石	六千石	七千石
群山	五百石	三千石	三千五百石
木浦	ナシ	三千石	三千石
計	一萬千五百石	二萬七千石	三万八千五百石

以上玄米合計三萬八千五百石にて之を精白すれば二万六千八百七十五石の白米を得べく更に八九兩月の需要高を聞くに滿洲は一萬四千石朝鮮前記各地關係の需要二万石合せて三萬四千石に上り之を玄米として約四萬五千石を要す然るに某氏見積りによれば現在玄米及び八九兩月間に出廻り來るべき玄米等を合せて三萬八千五百石なるにより不足玄米七千石之を白米として五千二百五十石なるが朝鮮の新米出廻りまでの端境に於て此の不足額五千餘石は結局他に供給を仰がざるべからず右の内滿洲に於ける需要に對しても約二千餘石の白米は一時日本内地に供給を仰ぐより外なかるべしと云々

●聯絡航路に付請願

朝鮮各港を經由する大連浦汐聯絡航路を開始せられんことを切望す（理由）近時朝鮮の交通狀態を見るに陸に鐵道の便益開け海に東部に於ては釜山元山間西部に於ては仁川鎭南浦間各沿岸航路の開始ありと雖も是皆一部の航路にして各港を通じて相聯絡するものなく各地特有物貨の交換運輸の便を缺ぎ其不利不便實に尠からざるなり此を以て本聯合會は明治四十二年九月時の韓國政府及統監に對し朝鮮各港を通ずる沿岸航路開始に付意見を開申したりと雖も未だ之が實行を見るに至らず甚だ遺憾とする所なり冀くば此際沿岸航路を擴張し定期滊船二艘を備へ兩端より逦航し浦汐、淸津、元山、釜山、馬山、木浦、群山、仁川、鎭南浦、大連の各樞要港地に通ずる聯絡航路を開始せられんことを

●慶南蠶種製造高

慶南道蠶業傳習所及び各郡蠶業傳習所に於ける本年蠶種製造高左の如し

所在地	種類	製造高
大邱郡	框製又昔	四石九九
同	同靑熟	二、七六
同	普通	一、一八
尙州郡	框製小石丸	九、〇四
同	普通	、二九
咸昌郡	框製靑熟	、六九
同	框製又昔	四、五〇
義州郡	框製靑熟	、七五
同	同小石丸	一、一八
慶州郡	同又昔	六、三五
同	普通	、四〇
星州郡	框製又昔	七、〇〇
同	普通	、〇八
淸道郡	框製又昔	一、四九
安東郡	同又昔	二、五〇
奉化郡	同又昔	四、一〇
善山郡	同又昔	一、九一

文苑

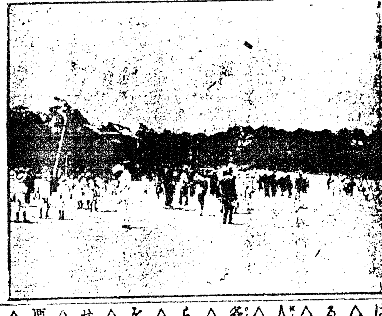
●京城學舍の敎師渡邊哲玄大人の令閨一年祭に詣でゝよめる　加藤梅雄

月の輪のめぐり〳〵て立かへり夏こそ來ぬれ行水のかへらぬ物はうつせみの命にもあるか去年の夏渡邊大人の朝な夕なれし衣のつまなりし人はいゆきぬ遠つ國、黄泉の境へ旅衣たちむかはれぬ今日は其いゆきまし〻日今日其むかひまし〻日今日こ〻にれもひかへしてしのぶればふりしきりくる五月雨のあめと斗に白妙の袖にながる〻涕川せきぞとむべきしがらみもなきて過行郭公、いさことゝつてむなれがゆく死出の山道、はる〴〵とへだてはすれどへだてざる、友はよりきて、なき人の御靈の前にありし世の夢のくさ〴〵くりかへしかたると告よ君はしも、大人が命を梓弓いる矢の的に國の爲、わたり來まし〻其日よりともに〳〵と朝にはいさみた〻しめ、夕には、いたはりむかへてころざしつくしの國をいでしよりありとあらゆるうの花の、うきくるしみをかずし〴〵に、かさねつくし〻はて〳〵は重き病に二つなき命をすてつしかはあれど命をかけしいさをしはむなしからずてから大和人ころかはれ所かけまくも綾に畏きすめらきの、御聞こと成ぬ、其國の、野へのなでして咲花をみるにつけてもはしろはの母なる人のかくはとも、しらでたはる〻、をさな子の上ぞかなしきされど〳〵身はすゝやかに、れひたちて、若葉の綠色ふかく千代に八千代にさかゆくこの有様をかざりなき人の心に同じくばたゞ一目だに有りし世に、かへさまほしとかなはさる事をよく〳〵れもひねの夢にも見へて、うつゝにも、たつ面影をてひつゝも、をると告なむ、てひつゝも、をるどつたへよ山郭公

俳句

◎雜吟十句　多田千春

水掬ふ旅のうしろや雲の峰
入船の澪口にて夕立つなり
馬の蠅に銀蠅たかる暑さかな
夕顔や馬の沓打つ月明り
さらし井や赤褌の九紋龍
蛸壺に蚊遣するなり須磨の浦
夕立も横なぐりなり撞木町
面白し按摩上手に探る蚤
出格子に釣してあるや螢籠
蚤飛ぶや冷飯食ふた膳の上



朝鮮基督敎牧師團の皇城拜觀

外事一束

△東郷● 大將大統領の晩餐會に主賓として臨む和氣藹々日米親交又一紐を加

△歐州● 株式市場強硬となる乙基摩洛哥問題形勢良好となりたるに由ると云

△獨は 阿弗利加の葡萄牙及白耳義殖民地獲得の意ありと噂あり紛擾一手專賣

△摩國● 問題協議の性質及内容は協定完全に成立する迄發表せられざるべし

△華盛● 頓電日大統領タフトは移民問題を除外したる仲裁條約を日濟に媒遲

△し且 成立の望無きに非ずと仲裁條約不可ならず唯仲裁々判所構成が有色

△人種● に不利なるに在り往年居留地課税問題の事、該裁判に對する先入的

△愿國● をなし今に信用を復せず乍併世界的大勢は滔々たり當局此間苦心有

△佛國● の對摩問題輿論は依然形勢観望也領土讓歩は人心險惡ならしむ如し

△露都● 側は英自ら波斯憲兵隊長より英大尉を去らしめんとせずとて批難す

△英米● 佛米仲裁條約は國民をして充分周知熟考せしめん爲批准の議事に入

△る前● 新聞に發表すべしと因に兩約は前文及些細の點を除けば殆ど同文也

△倫敦● トラフワルガー廣場に集合せる一萬四千の群集は正規時間外の勞働

△に賃● 銀割增を要求し船人石炭運搬人等と雇主と商務院にて協議すと此外

△ラン● カシャイヤ、ヨークシャイヤ各地百方罷業延し倫敦電車人夫迄之

△に罹● る同盟罷業劇烈未だ解見せられず勞働同盟協會の秩序的發展を俟

△シド● ニー在留日人南極探檢隊現狀を見るに忍びず後援を要求す朝野何態

△郭傳● 部日本及白耳義より新に借欵せんと右は一種の風説に過ぎざらんか

△吉會● 線踏査者談に三四の大隧道を要し材料運搬も不便工費五千万以上ぞ

△滿庭● 革匪を恐るる甚し南滿各督撫に訓令し饑民蜂起の際革命黨之に合して

△亂を● 作さば大事也嚴に未前に豫防の方法を講ず可しと水災の際此處最大

△獨軍● アガチールに進行し摩國土民全然威壓さる膠州灣占領當時に酷似す

◎新刊紹介

△家庭之友（八月之卷）『新日本の家庭』『孝行納豆賣』『狂人を夫に持ち女學校を創立せし貞婦』『家庭と小供』『家庭科學』『夏の料理』等家庭必讀の記事に富み其有益なるや言を俟たず（一冊十一錢東京本郷東片町新公論社）

△美藝畫報（八月號）　卷頭數多の寫眞先づ讀者の目を娯しましめ記事は皆それ劇道に關するもの斯道研究者にとりては頗る有益の雜誌なるべし（一冊二十五錢東京市神田區旭町美藝畫報社）

△俳味（第二卷八號）　英國政治家と俳味（栗原古城）私解芭蕉の發句（沼波瓊音）紅葉先生の俳諧（柳川春葉）等を始め俳味を解する人々には是非讀むべき記事多く附錄『三家發句解』亦珍なり（一冊十二錢東京市本郷區駒込西片町十俳味社）

△新報知（八月號）　一錢雜誌ではあるが中味はタップリ初から終まで無駄な記事を入れないのが本誌の特色（東京大崎停車塲前新報知社）

△東京經濟雜誌（千六百六號）　社說（米價引下の跛足政策）（安全なる米價均衡策）（割增金付債券の弊）東洋學人の（我邦政黨の危機）工業協會の（國有鐵道經營法の缺點）等なり（一冊十二錢東京市京橋區彌左衛門町經濟雜誌社）

召使れ初

第百二十七回　黑法師

れ道は翌日天の明くるを待ち、寅貴姫乳人れ峯の召使た鳴といふを借り受け、れ察の父松田助八を見舞ふべく、



進物持たせ、口上を云ひ含め、そと出し遣りたりき、れ察取扱ひの上に就いては、國尾より牧野主膳へ深く頼み遣はしたる事あり、ここにれ察はれ端女部屋の一室に閉ぢ籠められ、二三人の者張番し居れるが、まだ一應の詮義もなく、孝道の爲め犯したる罪と云ふに同情ありて、罪人ながら特別の待遇ありき父上大病の消息聞きて捨て置き難くれ築地を乘り越ねて外出せんとしたるなれど、事情は極めて簡短なれど、壽を含む澤野口に掛りては如何なる事を云ひ掛けられんとも限らず、澤野どて、れ察に深き意趣あるにあらねど、但國尾憎く嫉しく思ふ爲め、うの手に付く端女まで快からず、一つはれ察を苦むべく、一つはその口を操りて、有らぬことを白狀させ、もしくは白狀したる體に持爲し、罪を國尾一派の上に着せ掛けんと目論見たるなり、れ道が苦慮するは其爲なり、國尾が心配するは其爲なり

翌日は澤野一派の者、皆な勝ち誇りたる勇士の態度にてありき、國尾もれ道も自ら罪を犯したるにては無けれど、什麼とは知らず頭上より暴き雲なぞ被さるゝ如く覺えて、人に面を見らるゝ如き心地したりき、午時やゝ過ぐる頃れ鳴は急せきと歸り來りぬ

「れ道様、只今歸りました」

「これはまア御苦勞様でござりました」と、れ道は待ち難ねたる樣に「而て喃、松田殿御容体、どの樣でござりました」

「れ聞き遊ばせ、此樣に稀有な事でござりませぬ、麻布日ヶ窪毛利甲斐守様れ屋敷松田助八どの、何處もれ悪いことでござりませぬ」

「はて喃」とれ道は膝の前むを覺ゑず

「左樣な事は無い筈でござります」

「ぞれでも助八樣れ健康、御内職に遊ばすらしき蠟燭の心をれ撚りなされてでござりました」

「では御全快——昨夕の中に御全快なされたのでござりませうか喃」

「助八様御口上、何年以來藥一服も服みたることない、重々の御使者、何事のれ聞き損じか知らぬが、遠路の處御大儀、れ道樣へは取り分けて御厚禮仰せ下さるやうと、澁々御同なさせられてござります」

「あなたのれ同をれ疑ひ申すではござりませぬ、然し助八殿病氣の事、御子息の助藏殿、昨日御自身れ知らせに來らせたと云ふた、れ察が偽り云ふ筈もない、助藏どのとて武士の端に列りながら、外ならぬ父御前に離緣付けて、妹の心を欺かれう要も無い、如何にしても不思議、私合點參りませぬ」とれ道は首を傾けて、この不思議を考へ釋かんとする如なり

「助藏樣と申すのでござりませう、れ年頃二十五六の若い方も在らせでござりました」

「その方、什麼樣仰せでござりました喃」

「只莞爾とれ笑ひ遊ばすばかり、何事の仰もあらせられぬでござりました」

「何々」とれ鳴は言葉短に云ひ切りて「何々御詮議遊ばしませ、これには深い御樣子もあらうと心得ます」

「國尾樣へも申し上げ、篤と詮議致します」と云ふ中も不審晴れず「宛然で雲を摑むやうでござります」

京城新報

移入關税の撤廢か　米食の禁止か

米價暴騰して、多數國民の生計不如意となり、延ひて國民經濟上に不良の影響を及ぼさむとするに當り、政府は之が匡救策として、米穀に對する新關税率適用を延期し、一面には頃日東電の報道せる如く、東京下の關等の取引所をして定期取引を停止せしむる等頗る苦心しをるも、米價は依然として昂騰し毫も下落の傾向を示さず、折角政府の匡救手段も畫餅に歸せむとするものあるは、畢竟政府が根本的救治手段を講ぜずして、徒らに目前の姻を追ふに汲々として、其本を攘むることを閑却しをるが爲なり。そも今回の米價暴騰に付て、政府始め多數の者は、其原因を投機者輩の定期市場に於ける買占め、即ち彼等思惑師により人爲的に市價を左右せられたるものとなす。然り定期市場にれける相場が、投機者輩の突飛なる賣買に由り、不自然なる相場を現はし、其影響は正米に波及し、從つて一般消費者殊に中流以下の勞働者をして甚大なる痛苦を感ぜしむるに至るは蓋し定期市場に避く可からざる弊害にして、吾人は之等細民の生活難を意に介せざる投機者輩の惡徳行爲を憎惡するものなるも、更に繰つて考ふれば此投機者輩と雖も無限の資本を有せる筈なく、且三百萬石四百萬石も敢て辭せずて買込の氣勢を張りをるも、一朝之を正米として受取らむか、必らず賣放さざる可からざるは必到の理なり、之を想へば這般の暴騰現象は決して一般需要の關係以外に永く繼續し得可きものにあらざるなり、而かも彼等投機者輩が突飛なる行動を敢てするに至れる所以のものは、毎年天災頻出し我米作に惡影響を及ぼすもの尠なからざるに見て、之を自己射倖的材料となさむとするにあり、故に若米作の天災を蒙むること無けむ乎、彼等如何に僥倖を萬一に期せむと欲するも乘ずるの餘地なく、從つて人爲的米價の暴騰に由つて經濟界に一大波瀾を起すが如き事も無きなり。然るに不幸にも我國は昨年今年共大なる水害を蒙むり、向後と雖も天災の有無を測り知ること能はざると共に、投機者輩の跡を絶つこと亦難しとせざる可からず。憾むらくは政府の考慮茲に及ばずして、單に投機者輩の跋扈を防ぎ米價の平調を計らむとすとせば、天災を免るゝの手段の發見せられざる限り、年々歳々如此事を繰返すに過ぎずして、終に百年河清を待つて同じく徒勞に屬せむのみ。是に於て、政府は迂なる米價調節策を棄てゝ宜しく米價暴騰の根本的原因を稽へ以て國民の生計を容易ならしむるの方法を講ぜずして可ならむや。而して米價暴騰の原因は政府の見るが如く、斯く單純なるものにあらずして、其影響も亦深大なるものあり、國民常食の米常に不足しをるに因つて來れる米價の騰貴即ち是れなり。

昨四十三年の我國米生産額は五千二百四十三萬七千六百六十二石にして國民の消費額五千七百九十七萬九千六百九十二石なり、之に由て觀るも年々増加して止まざる我人口に對し國内の生産米のみにては到底其需要を充たす能はず、勢ひ他國産米によつて不足を補はざるべからざるに、輸入米には關税の賦課せらるゝありて之亦廉價に供給せられず、爲めに勞働者の手にて製造若くは加工せらるゝ我輸出貿易品の價格も勢ひ不廉ならざる能はず、斯くして克く外國と貿易上の輸贏を爭ふことを得むや。想ふて茲に至り、吾人は平素主張せる朝鮮米移入税撤廢の斷行を此際政府に望まざるを得ず。而かも朝鮮米關税の廢止は政治的に合併せられたる半島を經濟的に統一するものにして之に因つて本國及び半島の利益を庶むことの大なるは吾人の喋々を要する迄もなし、若それ政府にして之を爲すこと能はずとせば、寧ろ國民の米食を禁止するに若かざる也、あゝ米價暴騰を防止するの策此二途を出です、ろい政府は何れを執らむとする耶。

東京電報

●日米仲裁條約に就て　今回東郷大將の米國訪問と共に日米仲裁條約に關する米國側の希望は屢々公開の席上に於て演説せられ再び日米仲裁條約説生ずるに至れるが我國に於ては公式非公式共に何等の交渉なく只昔つて内田大使迄其談話ありし位にて我國政府當局者としては何等意見を發表したる事なしと

▲新内閣と上院　桂内閣に取て代るべき西園寺内閣は上院操縦手段の上より是非共研究會又は幸倶樂部より一二大臣を取らざる可らざるが研究會の三島子、岡部子等は閣臣たらざる可きは勿論にして幸倶樂部に至りては今後西園寺内閣を當面の敵として大に戰ふやも知れざれば小山縣の入閣説すら大に危ぶまれ居れり若し強いて之れを求めんには研究會の菊地大覺男木場貞長男茶話會の濱尾新男田健次郎男高橋是清男等なるが此等の諸氏が果して其所謂團體を代表し得るや將た又入閣を快諾するや頗る疑問にして西園寺内閣は或は上院より一人の代表者をも入閣せしめ能はざるべしと觀測する者あり

▲米穀取引停止　農商務大臣は米價引下の手段として十日東京取引所に對し八、九兩月定期米穀賣買停止を命じたり

▲全國取引所立會停止方針　東京米穀取引所立會停止命せられしより買方閥は早くも地方取引所に廻りし形勢あり農商務大臣は不穩と認むれば全國の米穀取引所に對し立會を停止する方針なりと言明せり

▲關釜運賃逓減　鐵道院にては内地及朝鮮間の交通發展に資する爲め關釜聯絡船乘客賃を左の如く逓減し十日附鐵道院告示を以て公布したり

	一等	二等	三等
舊運賃	十二圓	七圓	三圓五十錢
改正運賃	十圓	六圓	三圓

附記　右實施期明記しなきを以て我社は昨十一日午前十一時電話にて龍山なる鐵道局庶務課に問合せたるも同局には未だ何等の通報なしとの事なりき

▲首相の總督訪問　桂首相は既電の如く十日午後二時入京せる寺内總督を即時官邸に訪ひ長時間に亘りて密議を凝らし其の結果總督は十一日朝椿山莊に山縣公を訪問す

▲寺内總督歸着　寺内總督一行は十日午後三時三十分新橋驛に歸着せり官民中迎ひ盛んなりき

▲猛雨の區域　十日東京を襲へる猛雨の區域は關東附近のみにして關西、東北は無事なりし

▲東海道線の開通　東海道線は十一日午後二時單線のみ開通せり

▲宇佐川男陸相説　近く實現さるべき内閣の交迭に付き陸軍大臣には石本現次官物色されつゝありしが形勢一變東拓總裁宇佐川男の呼聲高く其かあらぬか山縣老公より宇佐川男に對して召命電報を發せしなれば男は近日上京打合せをなすならんといふ

▲遣英宮香港御着　東伏見宮同妃殿下の御乘船加茂丸は來る十五日午前香港に到着すべし

▲小包郵便激増　遞信省の調査に依れば内地各局に於て昨四十三年度に於て取扱たる小包郵便受付數は二千二百十一萬九千五百五十九個にして之を前年度に比すれば實に百九十二萬六千九百二十六個即ち九分五厘の増加を示せり

雜報

▲山縣公避暑　山縣元帥は九日午後二時五十分新橋發小田原別莊に赴きたり來月上旬迄滯在の豫定なり

▲官鐵の發展　鐵道院にては近年貨物輸送の増加に伴ひ機關車現在數二千三百輛を本年度に於て百二十輛を新造し四十五年度には更に二百餘輛を又貨車現在數は三萬四千輛なるが本年度に於て三千五百輛を新造する筈なり

▲濟生會寄附總額　濟生會に對する寄附金申込總額は九日現在にて千六百七十六萬八千百〇六圓なり

▲東京水害彙報　九日午后五時頃より東京附近猛雨の襲ふ所となり東京市内は、本所、深川、淺草、下谷、麻布其他各區浸水せざる所なく街衢滔々たる濁流に洗はれたり

▲東京浸水六萬戸　昨十日の豪雨にて東京各區の浸水家屋は六萬戸以上にして被害甚だし

●朝鮮貿易概況　總督府調査に係る本年七月中に於ける朝鮮貿易額輸移出入總計四百十二萬七千七百八十七圓なるが内輸移出百〇六萬六千二百三圓にして輸移入三百六萬一千五百八十四圓なり而して之れを本年一月以降累計せば輸移出一千百七十三萬六千二百二十七圓にして輸移入二千七百九十二萬五千五百四十圓なり差引輸移入超過一千六百十八萬九千三百十三圓なりと云ふ

●水道修理工事費　京城水道にては過般の鐵管破損に鑑み浸水區域の鐵管を檢査する事となし目下着々鐵管線路を開堅し技手をして檢査せしめつゝあるが又一方浸水區域約五町を復線となす等にて目下總督府へ豫算申請中なるが遠からず査定の運びに至るべく査定の上は直ちに其工事に着手すべしと因に復線工事費用は約三萬圓を要すべしと云ふ

●稷山金鑛成績　澁澤、淺野兩氏の經營に係る稷山金鑛の上半期成績を聞くに砂金部に於ては砂金賣却代金一萬九百五十八圓四十三錢にして雜收百四十三圓六十七錢利益九百五十五圓二錢三厘ありしが此内より政府への上納金二百三十八圓七十六錢を―利益金の四分の一―控除し其純益金は七百十六圓二十六錢三厘なりしと尚砂金部は金塊賣却代金八萬四千五百八十二圓二十二錢硫化礦賣却代金九千八百十二圓三十四錢雜收入四百六十六圓にて缺損二萬八千八百九十三圓七十九錢なるが六月迄の放資總額は四十三萬五千六百九十二圓五十八錢なりと云ふ

●内地人の貯金道別趨勢　朝鮮總督府郵便爲替貯金管理所に於て取扱ひたる本年五月末の貯金現在高は朝鮮人四萬一千六百六十六人此の貯金額二十三萬八千九百十六圓九十七錢八厘母國人十一萬〇七百四十一人此の貯金額三百二十二萬八千百二十圓四十八錢三厘なるが今之れが預金者の數を道別順に記すれば内地人の部に於ては京畿道を最とし慶尚南道之れに亞ぎ咸鏡南道平安南道慶尚北道咸鏡北道全羅南道全羅北道黄海道忠清南道平安北道江原道忠清北道間島等にて朝鮮人の部に於ては京畿道を首位とし慶尚南道之に亞ぎ慶尚北道黄海道平安南道全羅南道全羅北道平安北道忠清南道江原道咸鏡南道咸鏡北道忠清北道間島等なりといふ尚現今は郵便局の數全道を通じて三百八十六個所なるが本年中に五十餘を増設し四百五十餘個所となす豫定なりといふ

●土地調査員養成成績　總督府土地調査局員養成所にては學部時代に養成せし同部所管の養成技術員五十餘名を別とし昨年十二月募集せし第一回の生徒も本月一日募集せし第二回の生徒を養成しつゝあるが第一回の生徒數は百三十一名にして第二回の生徒數は六百三十五名なるが第一回は本年九月末か遲くも十月中旬迄には業を卒へしむべく第二回は來年四月頃卒業生を出すべき豫定にして來年四月には更に四百名の生徒を募集すべく而して第三回の卒業生を出したる上は豫定の數に達するを以て一先募集を見合はすべしといふ尚事務員養成科は之れ又學部時代に於て養成せし百六十餘名を別とし本年七月廿五日第一回の養成員百八十名を出したるが技術員事務員とも何れも成績良く又現在實地講習に從事しつゝあるものも好結果を收め居れりと

●朝鮮煙草會社に付き…山口太兵衞氏談…　折角のお尋ね故に話をしますが今度私の關係ある朝鮮煙草會社が資本金を百萬圓にして成立することになつたのは事實です、トコロで右に就ては創立委員間の議が纏まりまして己に東京では公衆の株式募集を公にしました、イヤ東京のみならず大阪其他の地方、近くは當地に於ても公衆株式の募集を公にすることになつて居りますが、茲に一の問題とも云ふべきは當地某氏一派の發起株引受けの事でありますが、彼の一派の人々等は最初發起人として二百株づつを引受けることを約して居りましたが、或計畫の齟齬より今日にては二百株はオロカ五十株の引受も六ケしい樣であります。而るに茲に怪しむべきは彼の一派窮餘の策でありまして、其策と云ふは外ならずイツカも貴紙上の問題になつたことのある當地長谷川町の廣江商會を五萬圓に買取り之れを會社へ十五萬圓に賣付け、差額十萬圓を利しソレを以て引受け株の拂込に充當せんとすることであります。サテ未だ成立せざる朝鮮煙草會社が廣江商會なる同業者を買收すると云ふことは理に於て出來ざる事でありまして、若し彼の一派がドウしても目的を遂げんと試むるならば、必ずや創立總會の大問題となるのであります、イヤ成立後に於ける會社營業の前途ですか、ソレは一部の人達の云ふ樣に悲觀すべきものではないと思はれます、否な悲觀すべからざるものであればこそ私自身も關係をして居るのであります云々

●長官會議休會　十一日は定例長官會議日なるも都合により同日休會し十二日午前九時より會議開くべしと

●水害調査と通牒　山縣政務總監は十一日客月六日以來管内水害狀況を至急調査報告すべき旨各道長官に通牒を發したり

●仁川民會議事　仁川民會は既報の如く十日午後八時より開會出席議員十二名にして左の諸件を議決せり

一、四十四年度内に二萬五千圓の豫算にて尋常小學校舍一棟を改築し且設備の改良を施すこと

二、各國居留地海岸埋築地在宅地百五十坪を一坪四十五圓以上にて隨意賣却の事

三、衞生基金積立金六千八百六十一圓小學校基本金六千四百四十八圓幼稚園基本金千五百六十四圓仁川病院基本金三百二十七圓計一萬五千二百圓を一時小學校改築費に流用し年五分五厘の利子を附し三ケ年据置明治四十七年度以後毎年千五百二十圓宛十ケ年に償還する事

四、尋常小學校改築費として銀行より三千圓を年一割以内の利率にて借入明治四十六年度に於て償却の事

以上各件の外三件を議し散會せり因に稻田勝彦氏の議員辭任の件は民長より議案を撤回せり

●木浦公設寄宿舍　木浦教育會は前に朝鮮教育會が目論めると同じく僻遠地所在内地人子弟の小學教育を奬勵するの主意を以て今回同地に公設寄宿舍創設の件を思立ち同時に同地教育會長橋本氏の名義を以て相當の補助の義を書面を以て寺内總督へ請願したるが右は多分當局の納るところとなるべしと云ふ

●北韓漁業移住者　客月二十九日福井縣阪井郡鴨巣村漁業組合理事山下初五郎は内地漁夫三十餘名を引卒し清津港に上陸し石川縣派出の漁民部落に居住し目下漁業準備中なりと

●野菜市場近況　南米倉町なる野菜及食料品市場に於ける近況を聞くに當今は野菜類の賣行よりも罐詰類の需要多く乾物類も弗々賣行あり殊に野菜類は殆んど種類に於て内地に讓らず從つて内地移入品よりも當地附近の農場産のもの市場に現はれ只玉葱柑橘類は内地より供給を仰ぐの外なしといふ

●電燈瓦斯需用増加率　京城に於ける電燈及瓦斯燈の需用は月々増加し目下電燈は終夜燈計量燈を合して一萬六千七百三十八燈（十燭光單位）瓦斯燈は七千二百三十六孔口にして一箇月平均電燈は四百燈瓦斯燈は百五十孔口の増加なりと因に昨年に比し電燈四割瓦斯三割の増加なりと

●柞蠶放養困難　京畿道各授産場にては既報の如く八月一日頃より發生せる柞蠶を飼養林に放養しつゝあるが之が飼育上尤も困難を感ずるは害蟲の襲來にして之を驅除する爲め目下之が威嚇及射殺をなし居れりと

●官立學校沿革調　内務部學務局にては今回朝鮮人側官立各種學校の沿革を調査する方針にて此の程關屋學務局長より各官立學校長へ通牒を發せり

●末廣博士の入京　京都帝國大學教授法學博士末廣重雄氏は十日入京天眞樓に投宿したるが三四日間滯留の由なり

●牧師團の歸京　東京、京都、大阪其の他各地に於て盛んなる歡迎を受けつゝありし朝鮮牧師觀光團の一行は右觀察を終へ十二日午後八時十分南大門驛着歸京當地京城教會に於て内地人牧師集合の上一行を招ぎ盛んなる歡會式を擧行する筈

●阿部參事官の入京　阿部法制局參事官は十一日午後八時十分着の列車にて入京すべしと云ふ

●上林局長の西北鮮行　總督府專賣局長上林敬次郎氏は十一日午前九時出發廣梁灣に赴きたるが更に新義州方面へ向ふべしと云ふ

●ジヨルダン博士來る　米國動物學博士ジヨルダン氏は日本觀察の爲め近々本國を出發する筈なる筋に通報ありたる由なるが同博士は現にエール大學教授にして米國に於ける十博士の一人として名聲高し今回の觀察の序で當地及び附近各地を觀察する事に内定し居ると云ふ

●衞生課の移轉　警務總監部衞生課は昨十日同部裏衞生試驗室階上憲兵補助員養成所跡に移轉し十一日より同所に於て事務を開始せり

●同業組合と報告　商工調査會は近々成立に付京龍間に於ける各種同業組合にして會議所へ報告なかりしものは此の際至急同所に申出でるべしと

●平壤府の降雹　八月四日午後四時より約十五分間同府西山面の一部に稍大の降雹あり小豆、蕎麥、煙草等は多少の被害を蒙りたるも甚しからずと

公人私人

▲吉川岩喜（業務課長）　十日山本へ
▲渡邊節（技師）　同上
▲末廣重雄（京大學教授）　天眞樓
▲長倉純一郎（林學士）　十日釜山行
▲加賀種二（鐵道局技師）　十日歸任
▲池田長次郎（總督府技師）　十日歸任

仁川港出入船舶

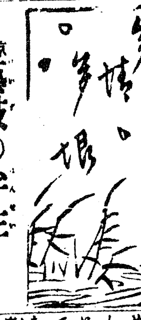
▲漢城丸　十二日大連より入港
▲城津丸　同　長崎より入港
▲神代丸　同　大阪より入港
▲信濃川丸　同　大阪より入港

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
八月十一日	二一、三一四、五四〇	五八〇

▲治外法權▼

は大分擴がつた樣だ、イヤ擴がつたと云はんよりは、成程ソウだらうなと信ぜられた樣だ、現にも角にも半島の統治が進歩して寺内伯の如き偉大なる政治家を要せぬことゝなつたのは先以て國家の爲に喜ぶべきことだ▲サテ何者の捏造ぞ、伯の勇退説を以て半島の人心を動搖させるものと見做す、而して此事人もあらうに伯の祿を食むものによつて爲されるとは言語同斷の至りだ▲伯の勇退説を故意に非認するものは云はん、曰く、半島の實狀は今俄は伯の勇退を許すの程度に非ずと、アーヒイの引例し、如斯は併合後一ケ年間に於ける伯の努力と治蹟とを無視すると同じで、伯崇拜の記者としては默して聞き能はざることだ▲サレど實際を云へば伯の勇退説に因つて一部人心の動搖することは事實だ、而し其動搖するのは鮮人でもなく、一般内地人官民でもなく、常に伯の寛大に甘んじ、卑怯にも虎の威を藉り、徒食之れ事とし、動もすれば伯の徳を傷けつゝありし、特種部落の一派だ▲期米の直段は益上騰する、ソコで政府は策盡き、東京は蠣殻町の本場へと取引停止を命じた、スルト東電に曰く、政府は只り東京のみならず、全國取引所へ取引停止を命ずるの意ありと▲水原で米價が一斗に付四五十錢暴騰した、而るに右暴騰の原因は、斗量者等が米買占を試みたるに因るとあつて、所轄警察署が相場價格の諭示をしたとは珍だ▲サテ珍は珍としても効果がアリタとすれば大したもので、該諭示なるものが、假令聊かにても桂總理大臣は宜敷水原警察署をタノミ内地米價調節の大任に當らしむべしだ



京城藝妓の半生

花月樓の茶羅(一)

川柳子も咏つて曰く「下女にする氣では育てぬ親心」[illegible]

京城北部二丁目四十二番戶板倉倫吉さんの娘で本名をくら子と云ひ當年二十二歳である、彼の父倫吉さんは米穀商であつて[illegible]立派な生活をして居たのであるが其の十一月相場の爲めに大失敗を招いて破產と迄でなつた[illegible]

[illegible]京都醫科大學の學生で藤田彰と云ふ優男と

相思の戀に落ち

[illegible]

當時**材木屋伊藤**某と云ふ富豪が茶羅に眼を附けて姉**藝妓の君奴**と云ふのに、盡力賴んだが此の君奴既に夫れ以前吉人の交情の謎じを往來頻繁に心を欲が燃して居たのみか妹分の花子と云ふのが茶羅の客の藤田に岡惚つて「何うにか成らんもんかね」と相談を持ち掛られて居たのだから堪らない伊藤の申込に應じて一肌脱ことを承諾した、而して此望を遂させるには藤田を自滅させるに勝くはなしと[illegible]若い者が血の滴く如に[illegible]伊藤と競爭者として立たして置いて、傍から藤田を煽り立てたのでれ坊ちやん[illegible]に乘つて鄕里の資產家なるを[illegible]金錢を湯水の如く浪費するので間もなく一方學校の方は其

不品行に退學

筋から不品行の故を以て退學を命せられ

親元からは送金が杜絶

る羽目と成つた[illegible]見て取つた伊藤一派の連中は[illegible]茶羅に肉薄した、弱きものゝ汝が名は女なり、伊藤に貢ぐ金錢を得る手段として其の仇の仇に其身を許したのであるは十八歳の夏とぞ聞ゆ、藤田も其の秋迄は茶羅が情の仕送りに[illegible]日を送つて居たが

羞恥と悔恨

とに堪ね兼ねて私かに自殺と決心したのであつたが斯くと知つた茶羅さんは左樣なつたも元はと云へば皆んな私故、お前一人は殺しはせぬと[illegible]

情死を圖つたが

[illegible]人に發見られたので二人の間は堰れて終つた

●十日夜の苦熱

昨日[illegible]に本年第一の最高[illegible]仁川觀測所員の談[illegible]を見るに華氏九十二[illegible]なるが如きも本町通[illegible]その商家に於て驗る[illegible]華氏九十八度九を示[illegible]なりし爲め不快言ふ[illegible]凉風に嚮堅し居たる[illegible]商家の如きは點燈し[illegible]風だになく普通人家[illegible]熱を增したるが如く[illegible]々散歩なるもの陸續[illegible]に氣の毒なる程にて[illegible]操臺漢陽公園の人出[illegible]二時を過ぐるも氣溫[illegible]ては珍らしく苦しき[illegible]

●本年の最高氣溫

觀[illegible]に本月十日の仁川の[illegible]度八(華氏九十二度八)[illegible]來の最高溫度を見るに左の如し

	度	起日
三十八年	三二、六	八月十八日
三十九年	三二、八	八月二日
四十年	三四、六	八月五日
四十一年	三一、五	八月十八日
四十二年	三四、〇	八月十日
四十三年	三二、七	七月三十日
四十四年	三三、八	八月十日

即ち昨日の暑氣は四十年及四十二年の最高氣溫に次ぐものにして且つ過去六ヶ年間に於ける最高氣溫の平均は八月九日なるを以て昨日の暑氣は蓋し本年第一にして今後之を越す暑氣は起らざるべしと

●**泥醉者の亂棒** 原籍大分縣北海部郡臼杵町岬浦三百十七番地當時仁川住東浦藏(三六)は熊本縣天草郡洲本町吉丸船主浦本淺太郎(三三)に雇はれ韓海の漁業に從事し居り十日仁川に上陸し彼處此處で酒を呑み泥醉の上水產會社側の棧橋に於て船主淺太郎に向ひ給金を請求したる處金三圓渡されたるに餘り少ないとて不服を並べ尚ほ鐵拳を振上げて淺太郎を擲り飛し其の餘勢を以て何の緣りなき天神丸に飛込み同乘組員佐藤虎吉(四七)及同谷田虎太郎(三七)に亂棒を仕向け船具等に損傷を負はしめし騷きに警官出張東浦藏を本署に引致し拘留中

●**自轉車を詐欺す** 長崎縣東彼杵郡川棚村七十九番地當時竹園町一丁目雜貨商田崎謙藏(三三)は六月十八九日頃長谷川町一丁目自轉車商牧野遠次郎方に至り自分の知友稅關官吏が自轉車を買ふから月賦金にて販賣し吳れと談判したるに應ぜざるより其の幾現金を持ち二十圓丈け渡し五十餘圓の自轉車を買ひ取り殘金は直ちに持ち來ると稱し自轉車に他に賣却し乍ら代金を支拂ぬとて詐欺取財として其の外橫領罪を犯したりとて南部署刑事に探知され取調の上檢事局に送られたり

●**日人漁夫の紛爭** 本月二日慶南巨濟島長承浦沿海に於て巨濟郡入佐村居枠谷安兵衛が率ふる漁夫數十名鰮漁中同村居藤原組の漁夫等は該鰮誘引の目的にて漁船に焚火をなし同漁場を橫斷せるに枠谷組は其不法を詰りたるに却て彼等は暴行を加へ各漁夫微傷を負はしめたりと云ふ

●**將棋大會の開催** 來る十三日の日曜を期し當地の將棋好家連は將棋大會を青葉町別府溫泉樓上に開き勝者には相當の懸賞品を呈す由會費二十錢何人も參加隨意なりと

●**無屆廣告で科料** 西部餘慶坊若橋二十七統十二戶圖覺社事務員趙成熙(三八)は其筋の許可なくして圖覺社に於ける演劇興行廣告の爲め樂器及廣告旗を使用し西大門通りを巡行したる廉にて科料金一圓に處せらる

●**人民尻を撲らる** 金錫熙(二八)徐玄泰(四四)金炳鎭(三十)の三名は交通妨害の廉に依り笞各十に處せらる

●**龍山の赤痢患者** 本籍熊本縣玉名郡伊倉町字橫田當時龍山祇町五十六番戶の二堀川文造(三五)は去る五日より赤痢病に罹り同地青坡病院へ收容せらる目下頗る重体なりと

●**ソンタクホテルに窃盜** 本月九日夜同ホテル硝子窓より窃盜忍入り同家の白木綿袋、玉臺被布及現金四圓廿錢計六圓廿錢を窃取逃走せり犯人目下搜查中なりと

●**仁川の腸窒扶斯** 仁川寺町一丁目八番地の三堀越とく(四五)は十日午後六時腸窒扶斯に罹り避病院に送らる



▲西小門通りの平岩兄弟商會に居られるシャレの女中は元待合紅葉の女將ではなかつたかしら此頃でも內職に何かして居ると見らて夜になると橫町で盛んに男とヒソ〜話し主人の名に係はりはせぬか(心痛男)▲京城有價證券組合員の井上消一の詐欺破產とか鳴呼井上は(二十三番目)▲新町遊廓晋寮樓娼妓花子(本名上原はる)は泥水稼業に日實に感心な女だ此內も二年前から同人の元に通詰めた二世を契つた旭町邊の或堅氣の番公に意見をして自分から極力手を廻して自分との關係を素人の妻君を持たして自分は年期も近々三月で明くそうだが女房に欲しいと申込も有るけれども現に一人の母親を扶養せねばならぬ義務が有るので此等の申込を斷りて居る中々の親孝行もの寳に彼等賤業者の鑑どするに恥ぢざるなり(赤星)▲以下仁川▲先達て仁川歌舞伎座に芝居見物に來て居た第一敷島樓の若葉君よ彼の男は京城の色魔ですよシッカリしないと酷い目に合ますよ(世話燒男)▲仁川仲町の〇口の氷は飲料氷と冷藏用と混合して賣る夫れが證據は氷を茶碗に入れて水に溶すと芥だらけです(衞生人)▲仁川稅關の〇出とか云ふ役人は商人の贈品の多少に依て關稅を左右するとか(貧乏商人)▲仁川仲町に高利貸營業の醫者の〇畑とか云ふ卑劣漢は去月新町邊の某質屋の令孃を投藥の間違ひか手術の粗漏かで遂に悲慘なる犧牲に供したとかで娘の親達は悲痛の餘り公沙汰になさんとせしを某醫の盡力で事なきを得たりとか實に恐ろしき刀圭家と云ふべし(胸の病人)▲去る八日の京城日報に「寺內總督と李王世子殿下を送る」と云ふ文が揭つてるか寺內總督は誰れより一番偉いのかな聞きたいぞ(聞度男)

●**禪學提唱** 若草町一丁目曹洞宗兩大本山別院內不二會にては十三日午前九時より田中道圓老師の無門關並般若心經の提唱あり來聽隨意

●演藝だより

●**壽座** 大坂二輪加非常の好人氣なるが十二日の替り狂言左の如し

忠臣藏四五段 りんきの競走、女は斷念、

●**浪花館** 大坂觀友派青年團浪花節虎家讓一行の浪花節にて十二日初日を出すべしと讀み物左の如し

谷風梶之助、勝丸、新時鳥(森峯)平井權八(當年十歳小峯)天保白人男勢揃(生駒)義士銘々傳(愛駒)大岡政談名古屋騷動(虎家讓)

●**青木堂の食堂開始** 豫て新築中なりし京城本町一丁目青木堂の理想的食堂は漸やく落成し此の程より開業したるが階下は例の歐米各地の粹を蒐めたるデパートメントにて階上は大食堂及び小食堂等の設けあり多勢の宴會にも又た一人づゝの食事にも適し居り且つ待合室化粧室等の設けさへありて尚ほ集會、相談會等には實費にて席貸をなす由なるが小食堂は尤も輕便に洋食一品づゝの誂へ其他朝日生ビール及びアイスクリーム其他コーヒー紅茶一杯にても注文に應ずる由



京城 花柳評判記(五) (京城通)

だいぶ料理屋の惡口が續く樣だが、なにも罵る計りが能でもあるまい。吾輩の處は一番流儀を換ねて京城へ料理店の出來た抑々を掻いつまんで御披露しよう。なんでも明治三十年頭の事だ、其頃の京城は皆さん先刻御承知の箸だから形容はぬきにするが、殺伐な野郎計の中へ忽然と顯れた**林まつ**と稱する**女性**があつた、**亭主**は**寫眞師**だが一儲する積りで夫婦して玄海を渡つたのが、不幸にしておまつさんに先立つて、黄昏のレンズへ寫される身となつた。男まさりのおまつさんはこんな事に驚く樣な與太ではなかつた、飜然悟る處あつて少數の日本人を相手に**小料理屋**を**開店**した。家名も自分の名前を冠して**松葉**と床しい看板を掛けた、着眼己に凡でない、松葉は瞬く內に京城居留民の樂園と化した。斷はつて置くがおまつさんは新造じやない婆さんに手が屆く女性なんだ。其頃松葉の一の客は青物商人だつた**山口太兵衛**さん、續いては公使館付書記官だつた**國分象太郎**さんに同付武官の**海津三雄**さんなんて言ふ處が遐い御贔負で、連日に亘る酒戰が狹い松葉の溫突に絕ゆなかつたものだ。女丈夫のおまつさんは小料理屋のお女將位に滿足する女ではなかつた、其時分日本人は勝利の本尊として居た**開城の人蔘買の主將**となつて**多數の武裝した無賴漢を指揮**して、雄々しくも人蔘堀の冒險を敢てした。御存じかも知らぬが當時開城の人蔘買は宛然一種の敵前に於ける工作件務に酷似して居る、一方では朝鮮兵と銃火を交ゑながら、其隙に乘じてぐん〜人蔘を掘つて逃るので、掘採た人蔘は臨津江の傍の長湍驛から密かに舟に積んで、龍山迄持て來る。こゝで精製して支那商人へ高價に賣込んだものである。今の太兵衛さんでも中村の再造さんでも皆これを遣つたんで、獨り女性のおまつさん計りで無いのは勿論の事だ。奇拔な術策は女ながらも當に當つて忽ち少なからぬ富を重ねた、こう成つて見ると小料理屋が初めの素志でもないのだから、今度は料理店を廢業して人蔘の專門屋に成つた、それから後のおまつさんは花柳評判に語る可き範圍でないが、その當時人蔘婆々と言へば知らない日本人は一人もなかつた、兎に角京城料理店の元祖はおまつさんの人蔘婆々に始まるのであるが、松葉が廢業後の京城へは續いて**其家の仲居**であつた**貴田りう**と今の井門が行燈を揭げた、貴田りうは今の掬翠で、おりうが**掬翠を開業**する**資金**は靑物屋の太兵衛さんから大根を貰つて澤庵漬をうんと製造して、公使館付武官の三雄さんに賴んで陸軍へ納めさせて貰つたのを貯蓄た結果で、おりうは料理店の機織者であると共に京城に於ける澤庵漬の元祖である。

諸公債諸株券
●現物賣買、
迅速確實に御取扱可申候
兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目
大阪野村德七代理店
田中友吉商店 電話九九三 振替電報（タ）

瓶詰は御進物に御便利で
樽詰は御徳用です
宅吟醸酒 光武
販賣店は到る處の酒店に有ます
合名會社 宅 仁川支店

くだり病一切の特効藥
健胃固腸丸
●主治
●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒
●常に用ゐて實効速なり
●常に時々（夏季は朝夕五粒ヅヽ服用せば腸胃の乘病を治し食物の消化を能くす
藥價 貳十粒入 五錢 四十五粒入 拾錢 百粒入 貳拾錢 三百粒入 五十錢 七百粒入 壹圓
本劑は全國到る所の賣藥店にて取次販賣せり
にせ物ありうつり掛の求の節商標と谷回春堂ノ御注意を
大阪市東區伏見町堺筋角
本舖 谷回春堂
（電話東四五八番）
（振替貯金番號八三〇）
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番 千六十八番 振替口座 京城 十六番

入院隨意
内外科
小兒病
梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
院長 陸軍軍醫正 高井貞治
電話（二一六）

懷中良藥
消化と毒けし
仁丹
●諸君いつも仁丹を召上れ
佳味、芳香優絶の仁丹は
●時候傷り水当●頭痛目眩昏倒
●船車の暈悪酔●胸腹痛み吐下
●酒煙草の味増●悪疫豫防等に
……最もよくきく靈藥
朝鮮代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

資本金五百萬圓
東京建物株式會社派出所
一土地建物抵當貸附
一月賦償却建物建築
本店東京市日本橋區呉服町
京城旭町二丁目
電話一六八一番

TUYOL
ツヨール
淋病内服新藥
下田慶佐加岩朝山川の博學實證
山中松川藤井田邊諸士驗明

本邦學界の名譽
世界の醫藥兩界に誇るべき一大發見
○本品は藤本藥學士が多年研究の結果發見せられたるものにして加ふるに上記專門諸大家に依つて藥化學的試驗及臨床的實驗等に於て從來公知のバルサム劑に比較し殺菌力卓越し胃腸障害等の副作用を絶對に誘發せず利尿の効尤も著しきが故に泌尿器疾患殊に淋毒性膀胱炎、尿道炎、消渇及一般急性、慢性、淋病に優秀なる偉効を奏する理想的治淋劑なり。
○本品は原液五百瓦、二百五十瓦、百瓦、廿五瓦、カプセル百粒、五十粒三十粒入の七種あり
▲到處有名藥舖に販賣す、説明書無料贈呈す
發賣元 東京銀座一丁目 ツヨール商會 振替貯金一九七二九番
韓國特約店 京城本町一丁目 山岸天佑堂 電話三七二番 振替貯金口座二〇三番

世界一のかぜ藥
全國藥店にあり
蛇印
アンチピリン丸
ねつ・はやりかぜ・づつう・りうまちすに大効あり
藥價 五錢・十錢・十五錢・廿五錢
發賣 大阪心齋橋二丁目 丹平商會
本舖 東京日本橋區通油町 丹平商會
代理店 京城 新井藥房 電話九〇四番、一〇六八番 振替口座 京城 十六番

遊漁御案内
漁舟漁具餌は勿論經驗に富める案内者附
仁川仲町三丁目（民團役所通）
仁川用達社遊漁部
電話二三五番
出張所 猫岬海水浴場 電話四一〇番

營業項目
牛乳搾收業
家畜飼養繁殖
畜產物賣買
家畜糧販賣
種牛種付及貸牛
其他畜產業一切
京城南大門外 荒井牧場 （電話一〇五六番）
江華島 荒井第二牧場
○牛乳販賣は京龍牛乳一手販賣所へ委托致候間從來通同所へ御用命希上候
○洋牛及朝鮮改良種多々繁殖致候間御買求願上候

新荷着
浪平板洋釘各種
多數御入用の御方は特に安價に御相談可致候
和洋金物商
京城本町貳丁目
佐野彥藏商店
電話一六三番 振替口座 京城 一二〇番

優等
清酒 ヤマヨサム
（商標）

商標
ドクトリ丸
はらいた・そうこ・りんびやう・あづけ下し
三包十錢、半週二十錢、壹週四十錢、貳週七十錢、參週壹圓、五週壹圓廿錢
本舖 大阪四ッ橋西南詰南 本林丁子堂
ドクトリ丸は全國到る處の藥店に取次有御求の節は丁子の商標に御注意を乞ふ
代理店 京城南大門通三丁目 電話九〇四番 一〇六八番 振替口座朝鮮十六番 新井藥房

分院設置廣告
在仁一般人士が齒科專門の院を要求する聲を聞くや久し小生當所有志の勸めに依り茲に分院を設置し汎く齒科治療者の需に應じ當院獨得の治療を施さんとす幸に本院同樣御引立の程希望致候
院主 齒科醫 勳六等 野田應治
醫員 野田春泉
東京齒科醫學校卒業生 川島唯男
松原虎之助
仁川仲町三丁目末永呉服店隣
野田齒科醫院分院

効能ある温泉
浴用効能
りようまちす、ちうふう、しんけいつう、ぜんそく、ひんびよう、しようかち、しきゆう、ひのいたみ、つきやくふちゆん、ひせんがんがさ其他皮膚病一切
外用効能
かつけ、らいびよう、ばいどくせいできもの、きりきず、やけど、しもやけ、ただれ、あたまがさ、ちきづ、ひぜん、はのいたみ、いんきん、たむし、うおのめ
内用効能
あせぼ、まんせいできもの、ひんけつ、しんぞう、ちようかたる、いびよう、あびよう、たうだん、かつけ、しんけいつう、りようまちす、せきずい、じんろう、ちゆうふう、げり、はらいたみ、病後衰弱、りんびよう、しようかち、しきう、酒のよい
旅館 浴客 貸席
京城長谷川町一丁目韓銀建築所北横手（電話一四一二番）
鐵冷温泉

腸胃新藥
タカヂアスターゼ
東京三共合資會社朝鮮總代理店
仁川本町 竹田津三平

水車唐箕製造販賣
京城明治町百七番戸
土井米吉工場
電話千三百二十六番

義齒術一般
三十日間 二割引
金齒一本一圓五十錢より八圓迄
銀齒一本三十錢より八十錢迄
護謨齒一本五十錢より一圓五十錢迄
セメンツ齒一本三十錢より五十錢迄
仁川宮町一丁目（三福すし向側）
森沖院

M.C.C.
エムシーシー
專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣
土耳古 紙卷 賣
京城、平壤龜屋——釜山、木浦、群山高瀨支店

義齒術一般
京城明治町一丁目（森、村賀店隣）
榊齒術所
電話は（六六九番）へ

酒精アルコール
●新荷着
銀行一般の業務精々御便利に取扱申候
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）
坂倉支店

株式會社 十八銀行支店
京城黃金町（銅峴）
電話四二〇番 五八〇番
○本店 長崎市
○日本、朝鮮の各樞要地並に浦鹽、濟南、安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候
◎貯蓄預金
○元金百圓に付日歩一錢二厘
○一口一錢以上何程にても御預り申候
貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

キ
八月中 滊船出帆廣告
三省丸 屯串行 八月十日前八時
天草丸 海州行 八月十三日前四時
武載丸 喬島行 八月十三日前九時
海利丸 海州行 八月十三日前三時
成敬丸 大湖芝行 八月十三日前九時
合資會社 秋田商會船舶部
仁川本町四丁目 電話一七三七五〇番

仝
芙江公州間定期出帆
芙江發毎日後一時四十分公州發毎日前七時芙江着後六時
公州御客樣の娛樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

名譽銀牌受領
キリンビール

本場精撰
茶
右銘茶各種新物續々入荷に付御小賣さも大勉強仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目（府廳通）
田中芳春園
電話四五〇番 振替京城五〇二番

尾州半田 中埜本家
清酢
特約販賣
仁川京城 髙雄支店

土地建物鑛山株券賣買
一京釜線太田驛附近の田畓（二三四里以内の處）
一京仁線以西の田畓
右買たし賣物あらば至急申込まれたし
最良好の金銀銅鑛明礬山石綿山賣物あり
一擔保及確實なる債權に對し低歩貸金す
一漢江上流に在る赤松長五六間のもの二十萬本
一會寧の市内適當の場所にて印刷業老舖附屬品全部譲り物あり
小林藤商店
京城明治町五丁目 電話六五五番